

中間市教育委員会

定例教育委員会会議録

(平成30年4月)

- 1 日 時 平成30年4月3日(火) 15時00分
- 2 場 所 市庁舎 本館 第一委員会室
- 3 出席委員 河本委員 衛藤委員 齋田委員 坂口委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局出席者 片平教育長 田中教育部長
松永学校教育課長 村上教育施設課長
小野学校指導課長 大内生涯学習課長
池田学校教育課長補佐 田口学校指導課長補佐
友廣生涯学習課長補佐 山本学校教育課総務係長
- 6 傍聴人 3人

定例教育委員会議事日程

平成30年4月3日（火）15時00分

- 1 前回の議事録の承認
 - (1) 平成30年2月臨時教育委員会
 - (2) 平成30年3月定例教育委員会

- 2 報告事項
 - (1) 平成30年4月学校教育行事及び社会教育行事について
 - (2) その他

- 3 協議事項
 - (1) 平成30年5月定例教育委員会の開催について
 - (2) その他

[開会時刻：15時00分]

田中教育部長	それでは平成30年4月定例教育委員会を開催いたします。教育長よろしくお願いいたします。
片平教育長	それでは議事に入りたいと思います。平成30年2月臨時教育委員会及び平成30年3月定例教育委員会の議事録の承認でございます。議事録についてよろしいでしょうか。
各委員	はい。
片平教育長	それでは承認ということで了承を得たということでよろしくお願います。 次に報告事項に入ります。平成30年4月学校教育行事及び社会教育行事について、学校教育行事からよろしくお願います。
小野学校指導課長	まず学校教育関係です。2日月曜日に管内転入者及び新規採用教職員の辞令交付式が行われました。6日金曜日に校長会議、9日月曜日に小中学校の始業式となっております。10日火曜日が適応指導教室の始業式となっております。11日水曜日に中学校の入学式、12日木曜日小学校の入学式となっております。16日月曜日は教頭会議、17日火曜日ですが中間市の学力調査、全国学力学習状況調査が行われます。中間市の学力調査ということで小学校3年生から5年生まで国語、算数のテストがあります。中学校の方は1、2年生の学力分析テストがあります。小学校6年生、中学校3年生については全国学力学習状況調査がありまして、今年度については国語、算数、数学、理科があります。17日から1年生の給食開始となっております。 続いて底井野小学校ですが、主な行事といたしましては27日金曜日に授業参観、学級懇談会、PTA総会が行われます。 続いて東小学校ですが、20日金曜日に授業参観、学級懇談会、PTA総会があります。23日月曜日から家庭訪問が行われます。 続いて中間小学校です。27日金曜日に授業参観、学級懇談会、PTA総会となっております。 北小学校は21日土曜日に授業参観、学級懇談会、PTA総会。25日に「人権の花贈呈式」ということで、これは各小学校持ち回りで、法務局のほうからひまわりの種を頂いております。今年度については、北小学校

で25日水曜日3年生がひまわりの種をもらうという贈呈式が行われます。27日金曜日、1年生を迎える会、歓迎遠足が予定されております。

南小学校については、20日金曜日に1年生を迎える会と歓迎遠足、27日金曜日授業参観、学級懇談会、PTA総会が予定されております。

西小学校は、授業参観、学級懇談会、PTA総会が27日金曜日に予定されております。

続いて中学校です。中間中学校では12日、13日に3年生の学力分析テストが行われ、13日には全校生徒の対面式、部活動紹介が予定されております。16日から家庭訪問が行われ、22日から24日の2泊3日で1年生の自然体験学習が行われます。

続いて北中学校です。12日、13日に3年生の学力分析テスト、12日に対面式が行われます。20日、21日に1年生のふれあい体験が行われます。24日から家庭訪問が始まります。

東中学校では、12日に3年生の学力分析テスト、16日に対面式、部活動紹介、23日から家庭訪問が行われます。

最後に南中学校です。12日に3年生の学力分析テスト、14日に土曜授業ということで、その中で対面式、体育会のオリエンテーション、部活動紹介が行われます。20日から家庭訪問が予定されております。以上です。

片平教育長

ただいま学校教育行事の説明がございましたが、それについて質問がございましたらお願いいたします。

衛藤委員

東中学校の25日小中連携会議がありますが、これは昨年度の説明では主幹教諭又は教務主任さんたちが集まって、小中の連携について会議をするとのことでしたが、東小学校と西小学校の予定に入っていない理由についてお聞きします。

次は家庭訪問についてです。中間中学校が16日から19日まで家庭訪問になっておりますが、17日は家庭訪問の記載がありません。他の中学校は4日間又は5日間記載されており、中間中学校だけが3日間となっておりますので、記載漏れでしょうか。

次の質問は、昨年度の3月の教育委員会の中で働き方改革について意見交換が行われ、定時退校日の話が行われましたが、定時退校日については教育委員会から最低月2回以上は定時退校日を設けるよう指示がされていると思いますが、それぞれ定時退校日が3日であったり2日であったり、4日であったり統一されていないように見受けられますので、それぞれの学校の定時退校日が何日間ということを教えていただきたい。

意見としまして、研修が各学校の予定にあります、その後にかっこ書きで学力等のテーマが書かれているものもあります。しかし研修としか書いていない学校も多いので、できましたら校長会議又は教頭会議の時にどのような研修を学校現場でされているのかということの理解のため、研修後にかっこ書きで、どういう内容かということで簡単に書いていただけたら、学校の先生方の研修内容がよく分りますので大変助かります。

片平教育長

はい、ただいま質問が3点、ご意見が1点ございました。まず1点目小中連携会議について、2点目の中間中学校の家庭訪問、3点目が定時退校日の日数ということでお答えいただきたいと思います。

小野教育指導課

はい。小中連携会議については、東中学校校区で行っている会議で、東小学校、西小学校の記載漏れということ。25日予定をされているということです。

2点目の中間中学校の家庭訪問については、もう一度確認をしたいと思います。確かに16日と18日、19日となっております。その後自然体験学習があるので、もしかしたら5月に回っている可能性もあるかと思えます。確認を取りたいと思います。

3点目の定時退校日ですが、これは先ほど衛藤委員のご意見のとおり、教育委員会の方からは毎月2回以上必ず定時退校日を設定されるようにしております。ですので、各学校ごとにまちまちな状態です。底井野小学校は毎週金曜日が定時退校日と校内で決めているということです。東小学校の方は、週1回、月4回。そして中間小学校、北小学校、南小学校については、月2回、西小学校については毎週金曜日が定時退校日になっています。中間中学校は月2回、北中学校、東中学校については週1回、南中学校は月2回設定されております。

片平教育長

定時退校日につきましては市の教育委員会からは月2回以上必ず設定しなさいということで指導を行っているところです。

衛藤委員

そのことに関して意見ですが、底井野小学校を例にいたしますと、毎週金曜日であれば4回入るはずですが、3回しか入っていません。東小学校も月4回ということですが、東小学校も3回しか入っていません。定時退校日に対する教職員の意識改革を図らないといけないという話が今年の3月の段階で出ましたので、先生方にも意識改革をしてもらおうという意味では、記入を正確にさせていただくよう指導していただけたらありがたいで

す。また底井野小学校と西小学校は毎週金曜日ということであれば、金曜日が5回ある月がありますが、5回定時退校日があるということでしょうか。

小野学校指導
課長

そういうことです。

衛藤委員

わかりました。

片平教育長

はい、よろしいでしょうか。後研修の内容名については次回から書きたいと思います。しかし4月の職員会議、研修等につきましては盛りだくさんの内容で行っておりますので、それをすべて書くというのは無理なので、このような形をとらせていただいております。以上です。

他にございませんでしょうか。

坂口委員

4点ございます。去年は10日に教科書配布ということで明記されておりましたが、今年は教科書配布は明記されないのでしょうか。

2点目、13日の北小学校です。去年は朝読と地区児童会とセットになっていましたが、今年は朝読というのは廃止されたのでしょうか。

3点目、西小学校です。給食開始という文言がありません。これは記載漏れでしょうか。

4点目、中間中学校の22日です。1年生の自然体験学習、これはどこにどういった内容か教えていただきたいと思います。以上です。

片平教育長

はい、4点ございましたが、1点目は教科書配布の日にちということで、2点目が北小学校の朝読ということ、3点目が西小学校の給食、4点目が中間中学校の自然体験学習の内容ということでよろしいでしょうか。

小野学校指導
課長

まず1点目の教科書配布については、各学校始業式の次の日に教科書配布しますので、各学校とも記載漏れだと思います。

2点目の北小学校の朝読については、これは確認をしたいと思います。

3点目の西小学校の給食開始については、小学校すべて一緒ですので記載漏れでございます。申し訳ございません。

田口学校指導
課長補佐

自然体験学習についてですが、場所は社会教育総合センターで行われると思われま。内容については集団訓練等が行われ、登山やオリエンテー

リング、野外炊飯等のメニューなど、様々なメニューがありますが、その中で選択して行っていくというかたちをとっております。

片平教育長 よろしいでしょうか。

坂口委員 社会教育総合センターから登山に行くのですか。

片平教育長 若杉山とかがありますので、登山を選ぶか又はオリエンテーリングをするのか、野外炊飯活動をするのか様々なプログラムがあつてそれから選択して実施する予定にしております。

坂口委員 はいわかりました。

衛藤委員 行事の所で、共通行事については各学校で記載することは大変ですから、最初の共通行事のところに記載した方が良いと思います。

片平教育長 はい、他にございませんでしょうか。よろしいでしょうか。
それでは、社会教育行事に移らせていただきます。社会教育行事、よろしく願いいたします。

友廣生涯学習課長補佐 はい、社会教育行事についてご説明いたします。中央公民館におきましては、4月5日木曜日に中間市歴史民俗資料館運営協議会が13時半から開催予定になっております。

その他は貸館業務となっております。

次に、体育文化センターにおきまして、4月15日日曜日に第10回やっちゃれビーチボールバレー大会が開催される予定になっております。今年度の参加予定チームは、33チームがエントリーをしています。年齢別としまして、10代から70代の方々に155名の参加の申し込みがあつております。また、チーム構成につきましては、1チーム4名から6名で競技を行う予定となっております。

最後に、生涯学習センターにおいては、4月21日土曜日になかま文学塾におきまして「炭鋌王・伊藤伝右衛門が遺したもの」をテーマとしまして講師に作家の興膳克彦さんをお招きして講話をしていただく予定となっております。

片平教育長 はい、ただいま社会教育行事について説明がございました。それにつき

まして、ご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

衛藤委員

やっちゃんれビーチボールバレー大会の説明がありましたが、昨年度より3チーム減っているようですが、チーム編成は自治会別なのでしょうか。それとも希望制でしょうか。

大内生涯学習
課長

今、私の方は存じておりませんので、調べて回答いたします。
(希望制の旨電話にて回答済)

衛藤委員

分かりました。

片平教育長

他によろしいでしょうか。それでは次にその他に移りたいと思います。

田口学校指導
課長補佐

3月の定例教育委員会の中でご指摘をいただいた、平成30年度学校教育重点目標の訂正について、報告させていただきます。ご指摘のあった内容について旧学校教育課の中で検討し修正を行っておりますので、修正箇所を説明させていただきます。「豊かな心の育成」の部分でございます。「心の育成のために育成し」ということで、育成という言葉の二重表現をご指摘いただきました。文脈も通りませんので、中身を「道徳的实践力を育成し」とあったものを「道徳性を養い」という表現に改めております。「道徳的实践力」という言葉が新指導要領の中で使われなくなっていることから「道徳性を養う」という指導要領の言葉をこちらにもってきております。

豊かな心の育成の(3)の部分でございます。先ほど説明しましたように「道徳的实践力」という言葉が新指導要領の中で、表現が削除されておりますので、新指導要領の表現「道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度」と改めさせていただきます。

(4)「児童生徒を育てるために育成し」ということで、育てる、育成するといふ二重表現をご指摘いただきましたが、学校教育課の中で検討した結果、育てるという言葉は上位項目、その中の下位項目のひとつとして「人権感覚の育成」ということで、内容的に明確的に違うので、表現の変更はしていません。

続きまして(11)でございます。「積極的な生徒指導に努め、体罰によらない生徒指導の徹底をはかります」という文言でございましたが、衛藤委員のご指摘により「体罰によらない」という文言は不祥事防止の方へ

の記述のほうがいいのではないかというご指摘をいただきました。確かにその通りでありますので、ここは「体罰によらない」という文言、これはのちほどでできます不祥事防止のほうに移管いたしまして、「一人ひとりを尊重し自己指導能力を育む」という文言が、文部科学省からだされています生徒指導提要にありますので、こちらを代わりに記載させていただいております。

続きまして（８）です。先ほど申しました体罰は「体罰等の不祥事防止」ということでこちらに体罰という文言を明記させていただいております。

最後に（１２）でございます。先ほど話題にのぼりました働き方改革の推進ということで、中間市教育委員会の姿勢を全面的に示す表現をとということでご指摘をいただいておりますので、表現を全面的に見直させていただいております。「教員が生き生きと働く中で、子どもと十分に向き合い、子ども理解・保護者理解を基盤とした学校教育が実現できるよう、教員の超過勤務の縮減や負担の軽減等、教職員の働き方改革の推進に努めます」ということで、中間市教育委員会の姿勢を全面的にだす表現に改めさせていただいております。

続きまして平成３０年度中間市学校教育推進プランについても、昨年度から見直しを行っております。大きな見直し内容についてですが、機構改革により所管課が変わっておりますので新しい所管課に移行を対応させています。

その他、確かな学力についてですが、「小中連携学力アップ」の中身も若干訂正しております。現在２期６年間、小中連携学力アップ推進事業を推進してまいりましてその成果、現在も継続して成果が上がっているものを引き続き進めるということで授業改善、家庭学習の充実「ドリカムノート」の活用というかたちに変えております。グローバル化対応については、放課後イングリッシュスクールが生涯学習課の所管になりますが、放課後イングリッシュスクールを加えております。

豊かな心につきましては、大きく順番を入れ替えております。生徒指導、道徳、人権の順で整理をしております。さらには特別教科道徳への対応を盛り込んでいるところであります。保幼小の連携については、学校教育課・学校指導課相互で進めていくというかたちで所管課を２つあげております。

健やかな体については体力向上の取組という大枠で各種事業を整理しております。組織的、継続的な取組を重視した内容としております。次に特別支援教育についてですが、特別教育の支援員の配置、これは全校に１名配置させていただいておりますが、その定着がなされているということ

と、新たな障がいの種類の方について、今年度も聴覚障害の特別支援学級が設置されております。もうひとつ、病弱児の特別支援教室が設置されております。来年度は医療的ケアを必要とする児童の入学が予定されております。このように障がいの形が非常に広がってきておりますので、その支援学級を設置したことによる表記順の見直し、重点的な取り組みを記載させていただいております。

信頼される学校については、今後コミュニティースクールの導入に向けた取り組みが必要になってまいりますのでそれを行っています。以上が学校教育課学校教育重点目標及び学校教育推進プランについての報告であります。以上です。

片平教育長

はい、学校教育重点目標の訂正した分をお示しいたしまして、推進プランにつきましては本年度バージョンということで提示させていただいております。これにつきましてよろしいでしょうか。

衛藤委員

はい。

片平教育長

それでは続きまして社会教育重点目標について説明よろしく申し上げます。

大内生涯学習課長

はい。平成30年度社会教育重点目標修正箇所がございますので、ご説明申し上げます。3か所ございます。

1か所目でございます。「仕組みでは解決が困難な課題があります」に修正しております。以前は「課題を抱えています」になっておりました。

2か所目です。(6)「市民が平等・対等の意識を高め」としてありますが、以前は「すべての人が平等・対等」となっており範囲が広いということから、市民に変えております。

3か所目になります。(2)「子どもが主体的に活動できるよう様々な活動や機会の提供に努め、週末や夏休み」としております。こちら以前は「週末」の前に「子どもの」が入っておりましたが削除しております。以上でございます。

片平教育長

はい、修正分につきまして説明ございましたが、よろしいでしょうか。

衛藤委員

はい。

片平教育長

それでは、30年度はこの学校教育重点目標及び社会教育重点目標をもちまして、学校、社会教育について進めていきたいと考えております。

片平教育長

それではその他でございますが、卒業式についてそれぞれご出席していただいておりますので、その報告をうけたいと思います。

衛藤委員

それでは私から卒業式の感想、様子についてご説明申し上げたいと思います。北中学校と底井野小学校にまいりましたので、両方とも説明申し上げます。北中学校は卒業生49名がおりましたが、卒業生全員が整った服装で参加していたので、非常にすがすがしい感じがいたしました。それから一人ひとり校長先生の方から卒業証書をもっていたのですが、子どもたちが檀上に上がる前は少し待っていないといけなかったのですが、その時も直立した姿勢をしていて、呼ばれたらスッとそのままの状態です歩いて行って、礼儀正しく卒業証を受け取っていたのが印象的でした。全体的には生徒も非常に緊張した態度で参加しており、厳粛に行われており、その点では非常に感動いたしました。もうひとつ校長先生が式辞の中で卒業生が新しく残してくれた伝統を在校生に紹介するというところで、それを受け継いでいこうと言われていたのが印象的でした。以上が北中学校です。底井野小学校の卒業式は、全体が22名、男子6名女子16名というかたちで卒業式が行われましたが、子どもたち一人ひとりが中学校でどのような事を目指しているかということ放送を使って具体的に自分がこういうことをしたい、チャレンジしたいということを、卒業証書を授与される時に同時に流れておりましたので、この子がどういう進路や、将来を考えているのかということがよくわかりました。それも大変よかったです。それから、もうひとつは門出の言葉という次第がありますが、これは卒業生が在校生に向かって門出の言葉を言って、それを受けた5年生が卒業生に送りの言葉をするものです。その際在校生の参加が14人でした。22名の卒業生と在校生14名しか参加していないので、声が小さくて体育館の中で聞き取りにくいのではないかと感じていましたが、6年生も5年生も体育館に響きわたるような大きな声で、その門出の言葉と贈る言葉を言っていたことが大変よく、学校の卒業式に対しての取組がきちんと行われていると実感いたしました。それからもうひとつは、校歌斉唱時に泣いている子どもがかなりいました。泣きながら38人で校歌斉唱をしているわけですから、校歌が歌いにくくて声が小さくなるのではないかなと思っていましたが、泣きながらも一生懸命校歌を歌って式を盛り上げ

ていたということで、大変感動した卒業式でした。以上です。

片平教育長

はい。次よろしいですか。

河本委員

私は北小学校に行つてまいりました。北小学校は学校訪問の時に集中していない子が多くて心配な気持ちで行つたのですが、今回は卒業式ではみなさん整然としておりました。ただ、残念だったこととしては髪型が制服にあつていないとか、スカートが短いという子が数人いましたけど、ただそういう子たちも清潔感を保つており、態度も厳かにしていました。中学校になってからの指導はあると思いますが、そういうことを本当に自分で感じていけるような指導をしていただいたらありがたいと思いました。卒業式の終わりにぜんざいを作つてくださつて、先生方がふるまつてくださつてとても学校の雰囲気が暖かいなというのを感じました。先生方が一生懸命指導してこられたのだということを感じました。少し残念なのは、あまり泣いている子がいなかったことです。以上でございます。

片平教育長

ありがとうございました。

齋田委員

私は中間南中学校にまいりました。34回目の卒業式で92名の卒業生でございました。吹奏楽部の演奏とともに卒業生入場されました。担任が3クラスとも女性の先生で卒業生授与の際は生徒一人ひとりの名前を読み上げながら生徒との思い出を振りかえられていたのか、言葉につまりながら必死に読み上げられておりました。卒業生もそのお姿が心に響いたようで、多くの卒業生や来賓、ご父兄の方みなさん目頭が熱くなるおもいでありました。また卒業の歌の合唱では大変練習を重ねられているのが分かるすばらしい合唱を披露してくださいました。雨天の中であり、また体育館も非常に寒い中でしたが心温まる卒業式でございました。小学校は中間小学校にまいりました。まずとても手のこんだパンフレットと卒業式に合わせたPTAの広報誌をいただきました。広報誌には卒業生一人ひとりの顔写真と思い出や目標、在校生たちのメッセージなどを見やすくまとめられていました。他の学校でもそうした広報誌をつくられていると思いますが、卒業式でいただいたのは初めてで、読ませていただくと卒業生たちの学校での雰囲気などがよく分り、これから卒業式に出席させていただく上での気持ちも変わったように思えました。36名の卒業児童で、中学校の卒業式とはまた違う、はつらつとした雰囲気で行われました。卒業証書授与ではプロジェクターと使いモニターに大きく顔を映し出すなど、色々なア

アイデアがだされておりました。毎年違う学校にまいります、学校それぞれ個性を生かした卒業式も目立ってきて、心温まるのととも先生方の尽力を感じております。以上でございます。

片平教育長

ありがとうございます。

坂口委員

私は東中学校に行つてまいりました。去年も東中学校でした。57回を数える卒業式で4クラス148名の生徒が卒業を迎えられました。東中学校は吹奏楽に大変力を入れられているということで、吹奏楽の生演奏が卒業生を出迎え神聖なる空気の中粛々と式典が進みました。卒業証書授与の際生徒達のはきはきとした力強く、大きな声、凛とした姿勢に卒業の喜びと新たな希望に向かつていく決意を感じました。また先生方の生徒一人ひとりに対する思い、愛情が伝わつてきて凛とした空気の中にも、ぬくもりと温かみのある卒業式でした。答辞、送辞にも先生方への感謝の気持ち、保護者への感謝の気持ち、母校への愛情と「感謝」という言葉が沢山でてきて本当に感動を覚えた素晴らしい卒業式でした。以上でございます。

片平教育長

ありがとうございます。

田中教育部長

私は、東小学校の卒業式に行つてまいりました。卒業生は87名でございました。子どもたちの態度はピシツとしておりまして、清々しい卒業式で中学校の制服を着て参加されていましたが、少し制服の着方がラフな子がありました。この子の中学校での生活に不安を感じましたが、学年の代表をしていたので、日頃はしっかりしている子なのだろうということが想像できました。栄養士の先生が今年最後ということだったので、その先生にも子どもたちからサプライズで感謝の言葉を頂いて、先生も感動しておりました。去年入学式も卒業式も東小学校でしたが、入学式でみた1年生が6年間たつと立派になって巣立っていくものだと感動いたしました。以上でございます。

片平教育長

私は西小学校と中間中学校に参加してきました。どちらの学校も学習指導要領に示す、儀式的行事として意識した卒業式を整然とできていたということは、素晴らしいことではないかと感じました。西小学校においては、不登校の子もいました。しかし卒業式には出て、卒業証書を受け取ることができておりました。その姿をみて先生方のご努力というところが非常に感じられるような気持ちになりました。卒業生は今回54名でした。39

回目ですので総数3, 318名が卒業しました。中間中学校でございますが、71回目を迎える卒業式で70名が卒業していきました。ここは伝統がありますので17, 169名が卒業したというところでございます。中間中学校は元気がいい子どもたちが非常に多いということですが、儀式的行事であるということをしっかり子どもたち一人ひとりが意識して臨んでいると感じました。先生方の今までの生徒指導等のご苦勞を感じました。そのひとつの現れとして、先生が卒業生を一人ひとり呼名します。その時に子どもたちが大きな声で3年間を振り返り、気持ちを込めた返事ができており、これは非常に素晴らしいと思っています。残念ながら1名だけ卒業式に参加できなかった子どもがいます。ただその子につきまして午後に特別に卒業証書を校長室で渡すようにしているとのことでした。全員が自信にあふれ3年間の中学校生活を後に巣立っていったと感じております。以上でございます。

村上教育施設
課長

南小学校に行つてまいりました。72名2クラスの卒業生ということで、卒業証書授与では一人ひとりしっかり大きな声で、証書を受け取っていたということございました。門出の言葉では思い出をそれぞれ児童のみなさんがひとつずつ各学年ごとの思い出、乗り越えてきたことを力強く語つておりまして、そういったところに感動を覚えた卒業式でございます。以上でございます。

片平教育長

はい。卒業式の報告は以上でございます。その他ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。それでは協議事項でございます。平成30年5月定例教育委員会の開催についてお願いいたします。

松永学校教育
課長

はい。5月の定例教育委員会の日程でございますが、4月27日金曜日の午前10時から開催したいと考えております。なお別紙として年間の予定日を配っておりますが、都合により変更となった場合は別途お知らせするというにしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

片平教育長

はい、よろしいでしょうか。他によろしいでしょうか。それでは本日でしたことにつきましては、学校に指導にすることにつきましては今週校長会議がございますのでその折に各担当部署から学校の方に指導をと思っております。

それでは、これで平成30年4月定例教育委員会を終わります。おつかれさまでした。

各委員

おつかれさまでした。

[閉会時刻：16時00分]